

百尺竿頭

ひゃく しゃく がん とう



札幌市青少年山の家だより

第40号

平成25年(2013年)11月1日発行

札幌市青少年山の家

事業係主任 山田 啓貴

「仲間とともに自然を感じるクラフト活動」

私たち人間は、古代から自然と共に生活をしてきました。自然から得られる素材を工夫し、生きるために必要な道具を創作してきました。そこから、生活道具だけではなく芸術的なものや装飾品を作る“モノづくり”が発展してきました。

野外活動、キャンプのプログラムの中に、「クラフト」と呼ばれる活動があります。辞書で「クラフト」を調べてみると「手工芸品・民芸品・工芸品」とあります。現代の私たちの生活の中で忘れている、自然素材で創意工夫した手仕事の“モノづくり”がそこにあります。

キャンプクラフトには、キャンプ生活で使用するもの（食器や箸作りなど）、キャンプ生活を楽しくするもの（遊び道具作りなど）、キャンプ生活の記念品（キーホルダーなど）など目的によって様々です。また、それらと複合してグループで一つの作品を作るなどにより、グループワークとしての効果も考えられます。

いずれも、自らの手で創り出す喜びにあふれ、工夫する楽しさや自然への関心を深めるチャンスになることが期待できます。

単に雨天プログラムとして・・・という場面が多いクラフト活動。成り立ちや効果を考えると、実は奥が深く教育的価値の高い活動ですので、積極的にプログラムに取り入れていきたいものです。



青少年山の家での活動プログラムでも様々なクラフト活動メニューをご用意しています。参加対象や目的に合わせてご利用ください。また、素材や道具をお持込みいただいて実施することも可能ですのでご相談ください。

実施事業のご報告

■ 幼保小連携事業「なかよしキャンプ」③ 10月20日(日)

通年4回で実施しているなかよしキャンプも3回目となり、会場を野幌森林公園に移して実施しました。

天候はあいにくのくもり空でしたが、森のレストラン(見立て遊び)や瑞穂池を目指して公園探検(ハイキング)を行い、みんな元気いっぱい遊びました。

小学5年生と年長児が「今度、近所の公園で一緒に遊ぼうね」という話をしており、少しずつ交流が深まってきているようです。



● 青少年山の家からのお知らせ ●

滝野すずらん丘陵公園の臨時休園に伴い、札幌市青少年山の家は9月24日から10月17日まで臨時休館の予定でしたが、**10月18日(金)から12月21日(土)**まで札幌市青少年山の家は休館を延長いたします。

ご予約いただいております皆様には大変ご迷惑をお掛けします。

何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

野外活動の



「フユ」

10月16日。立冬を待たず、初雪は滝野を見舞いました。梅や桜の開花は、秋からの蓄積温度に影響されているとか…。初雪も、なんらかの蓄積が影響しているのかもしれないね。

さて、異常気象が叫ばれて久しくなりました。人たちはその響きに慣れていく中で、季節観を失いかけているような気がします。あらためて、古代から伝わる季節(紙幅の都合上、冬をほんの少しだけ)というものに思いを及ぼしてみましょう。

冬は、又とフを合わせた字で、又は終わり、フは氷のこと。四季の終わり、物の氷る時を表しています。また又は、食物をぶらさげて蓄えている形で、物を蓄える季節を表すという説もあります。

草木が芽吹く春へ向かう冬。古代では、魂が蘇っていくこのことを、「ミタマノフユ」と言っていたらしいのです。“振ゆ”が語源とされる「フユ」。寒さに息を潜めていく靈魂が、暖かくなるにつれて振れ動くことを、草木たちと共に感じてみませんか。

ミタマノフユ

発行者：札幌市青少年山の家
指定管理者(公財)さっぽろ青少年女性活動協会

〒005-0862 札幌市南区滝野 247 番地 (国営滝野すずらん丘陵公園内)
電話 (011)591-0303 FAX(011)591-0394
ホームページ <http://www.sapporo-yamanoie.jp>

ひやくしゃくがんとう
百尺竿頭

